

日本腎臓病薬物療法学会誌執筆ガイドライン

平成 29 年 7 月 1 日作成

1. 原稿の体裁

- ① 表題は内容をよく表現する簡潔なものとし、和文で 50 文字、英文で 30 語以内とする。
- ② 著者氏名の表記は「姓 名」または「First name Middle name Family name」の表記とする。なお、middle name 以外は省略しないこととする。
- ③ 所属が 2 カ所以上の場合、著者氏名の右肩に所属番号を付ける。所属番号は算用数字(1, 2, ...)とする。
- ④ キーワード(key words)は 4 語以上 6 語以内とする。
- ⑤ 要旨(abstract)は原則として背景・目的、方法、結果、結論の各内容を含み、簡潔にまとめられていること。
- ⑥ 要旨には引用文献、脚注を付けないこと。
- ⑦ 要旨の文字数は、和文 800 字以内、英文 400 語以内とする。
- ⑧ 本文は原則として、緒言(Introduction)、方法(Materials and Methods)、結果(Results)、考察(Discussion)、利益相反 (Conflict of interest)、引用文献(References)の構成で記載すること。ただし、総説、症例報告はこの限りではない。
- ⑨ 本文の総文字数は原則として以下の通りとする。ただし、表題・著者名・所属名・キーワード・要旨および引用文献は含まない。
 - 1) 原著:和文 12,000 字,英文 6,000 語以内
 - 2) 総説:和文 20,000 字,英文 10,000 語以内
 - 3) 短報:和文 9,000 字,英文 4,500 語以内
 - 4) 症例報告:和文 4,000 字,英文 2,000 語以内
- ⑩ 本文には表紙を1としてページ番号をつけること。
- ⑪ 図表、写真は刷り上がりの面積あたり、以下の文字数としてカウントする。なお、面積はキャプション(図表のタイトル)、注記(legend)を含むものとする。
 - 1) 1 ページ全面(名刺 8 枚分の大きさ; 18.0×22.0 cm): 400 文字
 - 2) 1/2 ページ: 200 文字
 - 3) 1/4 ページ: 100 文字
 - 4) 9.0×5.5 cm (名刺サイズ): 50 文字
- ⑫ 原稿は Microsoft Office 製品(Word, Excel, PowerPoint)等を用途別に使いやすいもので作成し、原則として、印刷物ではなく電子ファイルを e メールに添付して事務局へ提出すること(図表については PDF でも可)。
- ⑬ 本文および図表はそれぞれ別の電子ファイルとして作成し、図表は本文中に組み込まないこと。

2. 本文および図表の作成

- ① 和文、英文に限らず原稿は A4 サイズの用紙に 12 ポイントのフォントを用い、24 行(または、ダブルスペース)で作製すること。

- ② フォントとは MS 明朝, ヒラギノ明朝, Times New Roman の使用が望ましい。ただし, 図表・数式に関してはこの限りではない。
- ③ 本文中にはゴシック体, ボールド体を用いず, 下線を引いてはならない(表題, 見出し, 図表番号等については印刷時にゴシック体, ボールド体に変換される)。なお, 図表・数式に関してはこの限りではない。
- ④ 図表は刷り上がりの実寸(最大で 18.0×22.0 cm)で作成すること。
- ⑤ 作成時に図表で用いる文字は原則として 8 ポイント以上とする。
- ⑥ 図および表は, 本文に出てくる順にそれぞれ一連の番号を付け, この番号で本文中に言及箇所を明記すること。さらに, その番号に続けてキャプションを付けること。なお, 番号とキャプションは表においては表全体の上部左側に, 図においては図の下部左側(ただし, 注記がある場合はその下に)に付けること。
- ⑦ 図表は, A4 用紙 1 枚に 1 点として作成すること。また, 図表には図表番号, キャプション, 注記を記載すること。
- ⑧ 図表の番号, キャプションおよび注記は別紙にリストとして作成し, 本文の末尾に「図表リスト(または, Legends)」として添付すること。
- ⑨ 写真は鮮明なデジタルデータ(JPEG, BMP, TIFF 等)で投稿すること。掲載は原則としてモノクロとなる(カラー写真として掲載する場合は別途費用を請求する)。
- ⑩ 略語を用いる時は初出時, 次の例に従い略語を記入し, 以後は略語を用いること。
 - (例1)クレアチニンクリアランス(CCr)
 - (例2)chronic kidney disease (CKD)
 - (例3)慢性腎臓病(chronic kidney disease ; CKD)
- ⑪ 編集委員会で, 学会誌としての統一上, 術語・記号・図表の体裁を変更する場合がある。
- ⑫ 総説で既発表の図表を用いる時は, 出典名を記入し, 且つ著作権所有者の了解を得ること。
- ⑬ 人名・地名・薬品名は, 日本語表記が一般的なもの以外は原則として英語表記を用いること。なお, 日本で販売されている医薬品名については日本語表記とする。
- ⑭ 度量衡の単位は SI 基本単位(kg, s, m, mol など), 一貫性のある SI 組立単位(Pa, J, Ω , $^{\circ}\text{C}$, Sv など), および SI 併用単位(L, min, $^{\circ}$ など)とそれらに SI 接頭辞を付けたものを基本とする。なお, L を使用する場合は大文字表記とする。
- ⑮ 引用文献数は原著 30 編以内, 総説制限なし, 短報・症例報告 10 編以内とし, 本文の引用箇所に順次番号を付すこと。次の形式に従い, 本文の末尾に「引用文献」として引用順に一括して記載すること。
 - 1) 書籍は, ①著者名(最大 6 名:6 名を超える場合は和文表記なら「他」, 欧文表記なら「et al.」): ②論文名. ③編者名, ④書籍名. ⑤所在地: ⑥出版社名, ⑦発行年(西暦); ⑧初ページ数-終ページ数. の順に記載する。
 - (例 1) 平田純生: 透析患者の薬物適正使用. 西沢良記 編, 最新透析医学. 東京: 医薬ジャーナル, 2008; 502-506.
 - (例 2) Aronoff GR, Bennet WM, Berns JS, Brier ME, Kasbekar N, Mueller BA, et al.: Drug Prescribing in Renal Failure. Dosing Guidelines for Adults and Children. Fifth Edition. Philadelphia: American College of Physicians, 2007.

- 2) 雑誌は, ①著者名(最大6名:6名を超える場合は和文表記なら「他」, 欧文表記なら「et al.»):②論文名. ③雑誌名 ④発行年(西暦); 巻数:初ページ数-終ページ. の順に記載する。
- (例 1) 平田純生, 和泉智, 古久保拓, 太田美由希, 藤田みのり, 山川智之: 血液透析による薬物除去率に影響する要因. 透析会誌 2004; 37: 1893-1900.
- (例 2) Tsujimoto M, Higuchi K, Shima D, Yokota H, Furukubo T, Izumi S, et al.: Inhibitory effects of uraemic toxins 3-indoxyl sulfate and *p*-cresol on losartan metabolism *in vitro*. J Pharm Pharmacol 2010; 62: 133-138.
- 雑誌の略号は, Index Medicus および医学中央雑誌(医学中央雑誌刊行会編)に準ずる。
- 3) インターネットからの引用は、本文中に括弧書きでアクセス日時とともに示す。
(<http://www.xxxxxxxxxxxx.jp>; 最終アクセス日時, 2015 年 3 月 20 日 15:23)

3. ガイドラインの作成および改正

このガイドラインは編集委員会が作成・改正する。